

表 4550 出口部感染罹患回数(回/年) 治療方法(新分類)別(腹膜透析単独患者)

治療方法 (新分類)	なし	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回以上	合計	不明	記載なし	総計
腹膜透析 (CAPD)	1,928	311	79	22	9	6	6		1	4	2,366	38	1,728	4,132
(%)	(81.5)	(13.1)	(3.3)	(0.9)	(0.4)	(0.3)	(0.3)		(0.0)	(0.2)	(100.0)			
腹膜透析 (APD)	1,139	186	54	18	14	4	6			8	1,429	19	888	2,336
(%)	(79.7)	(13.0)	(3.8)	(1.3)	(1.0)	(0.3)	(0.4)			(0.6)	(100.0)			
腹膜透析 (CCPD)	398	68	17	5	1	3				2	494	4	222	720
(%)	(80.6)	(13.8)	(3.4)	(1.0)	(0.2)	(0.6)				(0.4)	(100.0)			
合計	3,465	565	150	45	24	13	12		1	14	4,289	61	2,838	7,188
(%)	(80.8)	(13.2)	(3.5)	(1.0)	(0.6)	(0.3)	(0.3)		(0.0)	(0.3)	(100.0)			
記載なし (%)														
総計	3,465	565	150	45	24	13	12		1	14	4,289	61	2,838	7,188
(%)	(80.8)	(13.2)	(3.5)	(1.0)	(0.6)	(0.3)	(0.3)		(0.0)	(0.3)	(100.0)			

数値下のかっこ内は行方向の合計に対する%です。  
\*腹膜透析(CCPD)は、APDと手動のバック交換の両方を行うもの  
(C)Japanese Society for Dialysis Therapy  
2014年調査